

2020 春季生活闘争・政策制度 要求実現 3.3 デジタル集会 アピール（案）

われわれは本集会において、「私たちが未来を変える！すべての労働者の『底上げ』『底支え』『格差是正』と働き方の見直しで！」というスローガンのもと、2020 春季生活闘争を粘り強く闘い抜く決意を改めて確認した。

現在、すべての組合は月例賃金にこだわり、自らのめざす「賃金水準」への到達と企業内の賃金のセーフティネット構築にむけて、精力的に交渉を進めている。

特に、「経済の自律的成長」と「社会の持続性」を実現していくためには、日本の屋台骨を支える中小企業で働く労働者と有期・短時間・契約などで働く者の賃金を引き上げていくことが不可欠である。

すべての働く者の健康と安全を守るのは当然のことだが、日本に蔓延する言いようのない閉塞感を打破し、未来への基盤を創っていくためには、分配構造を転換し、すべての労働者の処遇改善を実現しなければならない。

2020 春季生活闘争はいよいよヤマ場を迎える。労使は社会的責務を果たすためにも答えを出す時である。

すべての労働者への「人への投資」こそが、職場の、企業の、そして日本の未来を創る。この断固たる決意をもって、組織の総力を結集し、最後の最後まで、ともに闘おう！

2020年3月3日

連合「2020 春季生活闘争 政策・制度 要求実現 3.3 デジタル集会」